

## 常願寺川で現地実験を行います ～新しい急流河川対策に向けて～

中央大学研究開発機構と国土交通省富山河川国道事務所の共同研究による現地実験を常願寺川において11月8日～10日に行う予定です。

河川では、洪水流による侵食作用等から堤防を守るため護岸、根固め等の対策工を実施しています。常願寺川を代表とする急流河川では、洪水時に発生する乱流偏流により河床が洗掘されることにより、護岸が破壊されることがあります。さらに洗掘、侵食が進むと堤防が破壊され、沿川に洪水被害をもたらす恐れがあります。そのため治水を考える上で、洪水時にどこで、どのような大きさの河床洗掘が発生するかを推測することが重要です。

これらを解明するため、常願寺川をフィールドとした現地実験を2004年から実施してきました。実験結果から、巨石（粒径30cm以上）の存在が河岸の侵食や洗掘に対して大きな役割を持っており、巨石がある程度の洪水に対しても留まることで、それ自身が核となり周囲の小さな粒径の石を留め、それらが噛み合うことで河床や河岸法面の勾配が安定すること等がわかりました。

これまでの実験結果をもとに、河岸の侵食作用等から堤防を守るための試験工を実施してきたところです。

今年度は、常願寺川のフィールドを使って、安定河道の形成過程、河床材料、勾配、流量に応じた安定河道の設計法を検討します。

### ● 昨年の現地実験の状況



実験水路への通水



通水時の流量の測定



通水後の河床材料の調査

### ● 実験日時及び場所

日 時：平成22年11月8日（月）～10日（水）  
詳細な時間は別紙-1を参照下さい。

場 所：富山市朝日地先 常願寺川河川敷  
（別紙-1及び2を参照下さい）

### ● その他

- ・通水中は水路際が崩れる恐れがありますので、安全柵より内側へは入らないでください。
- ・当日の気象状況によっては日程を変更する場合があります。

### お問い合わせ先

パレットとやま

□ 副所長 畠中 泰彦 TEL 076-443-4701

□ 調査第一課 大熊 義史 TEL 076-443-4715



富山河川国道事務所 Tel.076-443-4701（代）

〒930-0837 富山市奥田新町2番1号 <http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/>

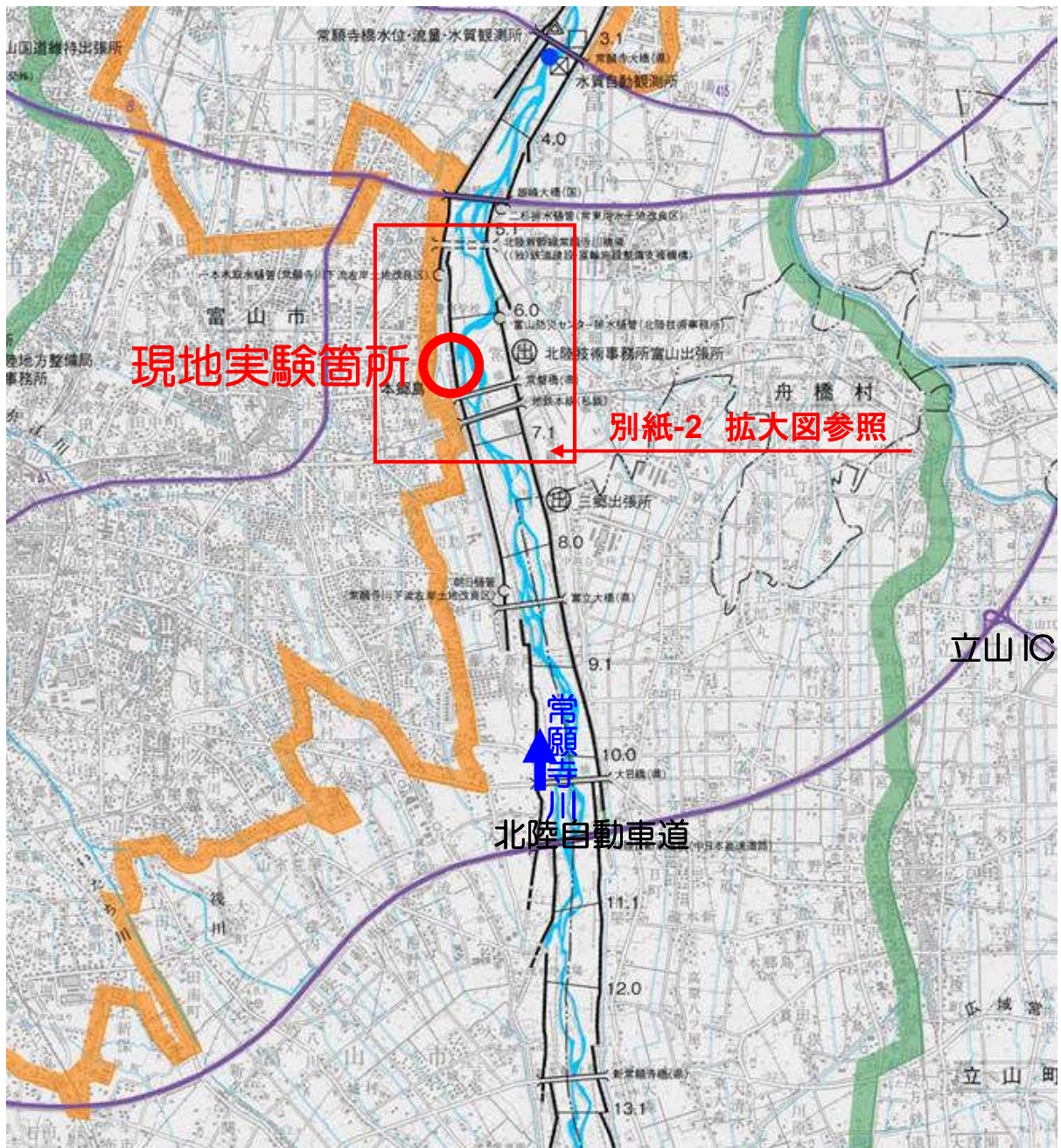
# 別紙-1

## ● 詳細日時及び場所

詳細日時：平成22年11月8日(月)	実験時間	9:00~17:00
	うち通水時間	10:00~12:00 14:00~15:00
11月9日(火)	実験時間	9:00~17:00
	うち通水時間	10:00~12:00 14:00~15:00
11月10日(水)	実験時間	9:00~12:00
	うち通水時間	10:00~12:00 14:00~15:00

※ただし、実験の進捗状況により時間を変更する場合があります。

## 位置図



※常願寺川常磐橋下流左岸河川敷で行います。

